

# 日本社会情報学会通信

Vol.25 No.1 2010.4.1

## 日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail office@jasi.info

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

\*本学会通信の掲載内容は、HPに掲載

## ☆ 会 長 挨拶 ☆

### 【平成22年度事業計画の方針と役員体制】

日本社会情報学会 会長 廣松 毅

この4月から新しく会長に就任することになり、一言ご挨拶申し上げます。

現在、グローバル化の大きな波の中で、日本社会そして世界が大きく変わろうとしています。グローバル化の大きな要因はインターネットを代表とする世界規模の情報ネットワークの発展です。

このような状況の中で、社会情報学会の役割も、情報や知識の重視される社会の到来、またそれをさらに加速すると考えられるユビキタス・ネットワーク技術の発展などにより、今後ますます重要性を増していきます(学会のサイト<http://wwwvsoc.nii.ac.jp/jasi/>をご覧ください)。

社会情報学は、その本質上、人文科学・社会科学、さらには工学分野や医学分野とも関連する学際的、分野横断的な性格をもったディシプリンです。このことを踏まえて、理論と実践を統合して、これからの日本社会、世界に対応できる新しいアカデミズムの構築を目指したいと考えています。そのために、須藤前会長の方針を堅持しつつ、関連諸学協会はもとより、広く産官学民との協働を推進し、オープンでフレキシブルな学会を実現したいと考えています。

以上の考えから、次のような平成22年度事業計画を策定いたしました。

会員みなさまの、日ごろから日本社会情報学会の活動へのご協力に対しまして、心より感謝申し上げますとともに、より一層積極的なご参加とご支援をお願い申し上げます。

〈平成22年度事業計画〉

◇日本社会情報学会は、関連諸学会（特にJSIS）との連携強化、産官学民の協働を進めます。

◇幅広い学術的交流を推進します。

- ・全国大会(JASI・JSIS合同大会を予定)を秋に長崎において開催します。
- ・年数回、特定のテーマにそった定例研究会を開催します。
- ・年数回、情報政策に特化した情報政策研究会を開催します。
- ・自由なテーマで組織された研究部会を開催します。
- ・地方支部の活動を一層活発にするために、各支部で支部研究会等を開催します。
- ・他学会との協働によるオープンなシンポジウムを開催します。

◇会員増加を図る広報活動を推進します。

◇学会活動全般の活性化に資する方策についての会員の意見・提言の積極的な実現を目指します。

- ・評議員会を開催します。
- ・常任委員会を開催します。

## &lt;平成22年度役員体制&gt;

(敬称略)

[会長] 廣松 毅 情報セキュリティ大学院大学情報セキュリティ研究科 教授  
 [副会長] 遠藤 薫 学習院大学法学部 教授  
 須藤 修 東京大学大学院情報学環 教授  
 和泉 潤 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部 教授

## &lt;常任委員長&gt; \*兼任

・常任理事 前田 隆正  
 ・総務委員会 \*五藤 寿樹 ・企画委員会 \*木村 忠正  
 ・学術委員会 \*田中 秀幸 ・表彰委員会 \*島田 達巳  
 ・事務局 和泉 恵子

## &lt;支部長&gt;

・中部支部 和泉 潤  
 ・関西支部 小郷 直言  
 ・中国・四国支部 遠山 茂樹  
 ・九州支部 河又 貴洋

## [理事] 50音順

安藤 明之 東京経済大学コミュニケーション学部 教授  
 石田 享一 京都大学情報学研究科社会情報学専攻 教授  
 和泉 潤 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部 教授  
 今井 雄一 トッパン・フォームズ(株)役員待遇産学共同研究センター センター長  
 遠藤 薫 学習院大学法学部 教授  
 太田 敏澄 電気通信大学大学院情報システム学研究科 教授  
 岡田 勇 創価大学経営学部 准教授  
 尾関 敬二 自治・人財・情報研究所 代表  
 河又 貴洋 長崎県立大学シーボルト校情報メディア学科 准教授  
 國領 二郎 慶応義塾大学環境情報学部 教授  
 木村 忠正 東京大学大学院総合文化研究科 准教授  
 小郷 直言 大阪大学大学院経済学研究科 准教授  
 後藤 省二 三鷹市市民部調整担当部長  
 五藤 寿樹 日本橋学館大学人文経営学部 准教授  
 後藤 玲子 茨城大学人文学部 准教授  
 小向 鋭一 (株)ジェイ エスキューブ 常務取締役  
 桜井 成一朗 明治学院大学法科大学院 教授  
 佐藤 佳弘 (株)情報文化総合研究所 代表取締役所長  
 真田 英彦 追手門学院大学経営学部 教授  
 島田 達巳 情報セキュリティ大学院大学 セキュアシステム研究所 客員研究員  
 小豆川 裕子 (株)NTTデータ 技術開発本部システム科学研究所 主幹研究員  
 須藤 修 東京大学大学院情報学環 教授  
 田中 秀幸 東京大学大学院情報学環 教授  
 茶谷 達雄 都市情報システム研究所 所長  
 辻井 重男 中央大学研究開発機構 教授  
 寺野 隆雄 東京工業大学大学院総合理工学研究科 教授  
 遠山 茂樹 高知大学人文学部 准教授  
 戸谷 寿夫 関西情報化維新協議会 副理事長  
 富山 慶典 群馬大学社会情報学部 教授  
 中井 豊 芝浦工業大学システム工学部 教授  
 新川 達郎 同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授  
 根来 龍之 早稲田大学商学部 教授  
 根本 敏則 一橋大学大学院商学研究科 教授  
 平野 浩 学習院大学法学部政治学科 教授  
 平林 幹朗 キャリア・アップ企画 代表  
 福田 豊 電気通信大学人間コミュニケーション学科 教授  
 前田 隆正 NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構 理事  
 山本 佳世子 電気通信大学大学院情報システム学研究科 准教授  
 吉田 稔 西宮市C I O補佐官兼西宮市情報センター

**☆ 2010年日本社会情報学会（JASI&JSIS）合同研究発表大会開催について☆**

2010年日本社会情報学会（JASI&JSIS）合同研究発表大会の検討が進められています。  
今後開催される理事会の報告の後に、学会HP等でアナウンスする予定です。  
会員の皆様方におかれましては、学会HPでご確認いただきますようお願い申し上げます。

**2010年日本社会情報学会（JASI&JSIS）合同研究発表大会**

- 【主 催】 日本社会情報学会（JASI）  
日本社会情報学会（JSIS）
- 【開催期日】 2010年9月4日（土）～6日（月）（予定）
- 【会 場】 長崎県立大学シーボルト校
- 【テーマ】 （検討中）

## ☆ 2010年日本社会情報学会（JASI&amp;JSIS）合同研究発表大会研究発表募集のお知らせ ☆

学術委員長 田中 秀幸

2010年日本社会情報学会（JASI&JSIS）合同研究発表大会については、検討が進められているところですが、現在の予定に基づき、研究発表を下記の要領により募集いたします。以下、例年の例をご参照の上、発表申し込みをご検討いただければ幸いです。

研究発表は、例年、1件につき約30分となっています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子自治体・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など例年自由にお考えいただいています。

なお、大会当日に報告を行わなかった場合は報告として認められませんので、予めお伝えします。

大会での研究発表につきましては、9月頃に研究発表賞選考委員会を開催し、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづいて、研究発表賞の選考を行う予定です。なお、前回の研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご覧下さい。

多数の皆様の記事をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

日時：2010年9月4日(土)、5日(日)、6日(月) (予定)

会場：長崎県立大学シーボルト校

発表申込締切：2010年5月末頃予定

論文集原稿締切：2010年6月末頃予定

締切期日の確定を含め詳細については、学会HPや学会メーリングリストを通じてご連絡しますので、ご留意ください。

### (1) 発表申込要領

決まり次第、学会HP、学会メーリングリスト等でご連絡します。

### (2) 研究発表論文原稿執筆要領 (予定)

ご参考までに昨年度の例を踏まえた留意点をお伝えします。正式なものは学会HP、学会メーリングリスト等でご案内しますので、そちらをご覧ください。

#### (a) 原稿作成について

1. A4版、4ページで図表を含みます（4ページを越えた場合には、その分を削除させていただきますので、ご注意ください）。
2. 例年、モノクロ印刷となっております。図表の掲載に当たっては、モノクロでも判別可能となるよう留意下さい。
3. 原稿の1ページ目は、上から「和文題名、英文題名、発表者名・所属(和文)、発表者名・所属(英文)、英文アブストラクト(100語以内)」の順でお願いいたします。なお、発表者が複数の場合、発表者名の頭に○印を付して下さい。

#### (b) 原稿の送付について

1. 必着期限を過ぎた場合には、発表を棄権したものとみなします。
2. 研究発表論文集に掲載された論文の著作権は、日本社会情報学会（JASI）に帰属するものとします。

【注】執筆要領については、確定次第、学会HP、学会メーリングリスト等を通じてご連絡しますので、ご確認ください。

**\* 5月末頃締切予定**

2010年日本社会情報学会（JASI&JSIS）合同研究発表大会研究発表申込書（予定）

（注）書式や内容が変更になる可能性があります。確定版を学会 HP 等でご確認いただきますようお願いいたします。

◇ 発表申込者連絡先

会 員 名		
所 属		
住 所	(勤務先・自宅) 〒	
連 絡 先	TEL	FAX
	e-mail	

◇ 論題・発表者・発表用機器

論 題		
ふりがな 発表者氏名（所属）	1	2
*当日の発表者に○を付 す。学生会員が発表する 場合には◎とする	3	4
使用機器（機器を使用する場合いずれかに○を付す） 1. 液晶プロジェクタ（パソコン、同付属のコネクタはご持参下さい） 2. その他（上記以外の機器をご使用希望の場合には、大会事務局にご相談下さい）		

◇ 要 旨（200字以内）

\* キーワード（5つ程度、必ず記入）

## ☆平成22年度・学会賞候補推薦について☆

平成22年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。  
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会  
委員長 島田 達巳

### < 表彰候補者の推薦締め切り >

種 類	締 切 日
大学院学位論文賞	22年4月 9日 (金)
優秀文献賞	22年5月21日 (金)
優秀論文賞	同 上
論文奨励賞	同 上
学会功労賞	22年6月18日 (金)
社会情報システム貢献賞	同 上
* 「秋山穰賞」	

\* 「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

#### [ 功労選考委員会 ]

選考区分：  
・学会功労賞  
・社会情報システム貢献賞

#### [ 文献論文選考委員会 ]

選考区分：  
・優秀文献賞  
・優秀論文賞  
・論文奨励賞  
・大学院学位論文賞  
・研究発表賞

※各推薦書は、コピー（A4に拡大）してご利用下さい。  
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰  
候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

平成21年12月1日  
\* 21/12/1発行学会通信の再掲

## 日本社会情報学会

### 第13回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会  
会長 廣松 毅

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成21年4月1日～平成22年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきまして表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞（修士）
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞（博士）
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞（博士）

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

#### 記

1. 受付期限 平成22年4月9日(金)\* 必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408  
日本社会情報学会事務局  
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部  
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)  
同学位審査要旨四通  
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。  
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上



平成 年 月 日

### 表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) \_\_\_\_\_ 印  
(所属) \_\_\_\_\_  
(連絡先住所) 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
TEL : \_\_\_\_\_ FAX. : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_

#### 記

[推薦論文名] \_\_\_\_\_  
[学位取得者氏名] \_\_\_\_\_  
[学位授与研究科・専攻名]  
\_\_\_\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 研究科  
\_\_\_\_\_ 専攻  
[学位取得日] \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
[推薦区分] ( ) 内に○印を付してお示し下さい。  
( ) 修士論文 ( ) 課程博士論文 ( ) 論文博士論文

[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成22年4月1日

## 日本社会情報学会 優秀文献賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会  
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条（2）優秀文献賞につき、下記により、表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。なお、優秀文献賞は、本学会正会員の公表した著書、翻訳書等で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な文献に贈られる賞となっております。また、対象となる文献の公表時期は、平成20年4月1日から平成22年3月31日と致します。

### 記

1. 受付期限 **平成22年5月21日（金）必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 廣松 毅  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408  
日本社会情報学会事務局  
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一文献  
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 推薦者資格 本学会正会員

以上

日本社会情報学会  
優秀文献賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀文献賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) \_\_\_\_\_ 印  
(所属) \_\_\_\_\_  
(連絡先住所) 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_

記

[推薦文献名] \_\_\_\_\_  
出版社等名称 : \_\_\_\_\_  
発行年月日 : \_\_\_\_\_  
[表彰候補者名] \_\_\_\_\_  
所属 : \_\_\_\_\_  
[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成22年4月1日

## 日本社会情報学会 優秀論文賞・論文奨励賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会  
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(3) 優秀論文賞、(4)論文奨励賞につき、下記により、それぞれの表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。

なお、優秀論文賞は、本学会正会員が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞であり、論文奨励賞は、本学会正会員である新進の研究者が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞となっております。また、対象となる論文の公表時期は、平成21年4月1日から平成22年3月31日と致します。

### 記

1. 受付期限 **平成22年5月20日（金）必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 廣松 毅  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408  
日本社会情報学会事務局  
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一編  
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 添付書類 推薦論文三通（論文の抜き刷りないしコピーで結構です）
5. 推薦者資格 本学会正会員

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会  
優秀論文賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) \_\_\_\_\_ 印  
(所属) \_\_\_\_\_  
(連絡先住所) 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_

記

[推薦論文名] \_\_\_\_\_  
[表彰候補者名] \_\_\_\_\_  
所属 : \_\_\_\_\_  
[論文掲載誌名] \_\_\_\_\_  
発行学会等名称 \_\_\_\_\_  
第 \_\_\_\_\_ 卷, 第 \_\_\_\_\_ 号, \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ ページ  
[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

日本社会情報学会  
論文奨励賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による論文奨励賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) \_\_\_\_\_ 印  
(所属) \_\_\_\_\_  
(連絡先住所) 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_

記

[推薦論文名] \_\_\_\_\_

[表彰候補者名] \_\_\_\_\_  
所属 : \_\_\_\_\_

[論文掲載誌名] \_\_\_\_\_  
発行学会等名称 \_\_\_\_\_  
第 \_\_\_\_\_ 卷，第 \_\_\_\_\_ 号， \_\_\_\_\_ ～ \_\_\_\_\_ ページ

[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

日本社会情報学会・学会表彰候補者の推薦お願い  
〔学会功労賞〕〔社会情報システム貢献賞〕

平成22年4月1日

日本社会情報学会表彰委員会  
功労選考委員会

下記により、日本社会情報学会の平成20年度・標記表彰候補の推薦をお願い致します。

1. 受付期限 **平成22年6月18日（金）必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 廣松 毅  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408  
日本社会情報学会事務局  
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、1件1部。  
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 推薦者資格 本学会正会員。

なお、学会表彰の区分及び対象は、日本社会情報学会表彰規則第2条に基づき以下の通りとする。

- (1) 学会功労賞  
本学会の発展に著しく功労のあった者
- (2) 社会情報システム貢献賞  
本学会の大会、研究会、学会誌で公表した研究もしくは発表で、社会情報システムの発展に特に貢献したと認められる個人または団体

## 表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則により表彰の候補を推薦致します。

[推薦者]

(ふりがな) 氏 名	
連絡先住所	〒  TEL ( ) FAX ( ) E-mail :

### 記

[推薦候補者または推薦候補団体の名称] \* 多人数の場合は、その代表者名。

[表彰区分] \* 該当区分の□に√を付す。

学会功労賞       社会情報システム貢献賞

[表彰対象事項]

[表彰事由]

<添付資料>

受付： 年 月 日

受付者氏名：



## ☆ 理 事 会 報 告 ☆

## 【第4回理事会報告】

日 時 平成21年9月12日（土）12:20-13:30

会 場 新潟大学（五十嵐キャンパス）総合教育研究棟D棟 D301 講義室

出席者 17名

安藤、小笠原、後藤、五藤、桜井、島田、小豆川、河又、須藤、田中、富山、中井、平野、福田、前田、吉光、和泉

## 議 事

- 1 理事選挙について
- 2 新会員の入会承認
- 3 委員会報告
- 5 その他学会運営に関する事項

## 議事内容

資料に基づき、田中選挙管理委員長から、理事候補者投票結果についての報告があり、それを承認した。

資料に基づき、後藤理事より、総務委員会報告があった。

入会2名、退会3名を承認した。

会費未納の取り扱いに関する規程が提示され、それを承認した。

資料に基づき、福田理事より、企画委員会報告があった。

12月2日第58回情報政策研究会、情報交流会が開催予定であることが報告された。

田中学術委員長より、英文学会誌公開にともなう、Niiへの手続方法について説明がなされ、今回はJSISの会員名簿を提出し、両学会員が無料で閲覧できることとした。

J-STAGEにおける大会予稿集データベースへのアップについては、07年度、08年度、09年度分として、概算70万円弱を両学会で折半とし、特別会計から支出することを承認した。

島田表彰委員長より、社会情報システム貢献賞（個人）候補者の吉田稔氏について、取り下げが報告された。

次回大会開催校については、JASI九州支部が担当（長崎県立大）することとなった。

次回第5回理事会は12月2日（水）。

## 【第5回理事会報告】

日 時 平成21年12月2日（水）14:00-15:15

会 場 中央大学駿河台記念館680会議室

出席者（順不同）12名

安藤、今井、後藤、島田、小豆川、須藤、田中、平林、廣松、福田、前田、和泉

## 議 事

1. 理事選挙について
2. 新会員の入会承認
3. 中国四国支部設立
4. 合同大会決算報告
5. 委員会報告
6. その他学会運営に関する事項

## 議事内容

1. 資料に基づき、前回議事録を承認した。

2. 資料に基づき、廣松総務委員長より、入会 9 名、退会 2 社、1 名の報告があり、承認した。会員内訳、収支が報告された。  
資料に基づき、HP の SEO 対策についての解決案及び見積書が提示され、今年度予算で行うことが承認された。
3. 資料に基づき、廣松総務委員長より、中部四国支部設立申請書の説明があり、それを承認した。
4. 資料に基づき、懸案事項であった新たな種別、自治体関連の会員について、協議の結果、現行どおりとした。ただし、大会参加費等については、別途、継続協議とする。
5. 資料に基づき、福田企画委員長より、定例研究会、情報政策研究会の説明があった。
6. 資料に基づき、田中学術委員長より、委員会議事録、大会決算、報告等があった。
7. 資料に基づき、本年度社会情報システム貢献賞受賞南砺市の掲載新聞が紹介された。
8. 資料に基づき、田中選挙管理委員長より、次期理事選挙結果が報告され、それを承認した。
9. 資料に基づき、田中選挙管理委員長より、理事選挙について団体会員からの意見と検討結果の取り扱いについて説明があった。協議の結果、理事選出規則、理事候補者投票要領、理事選出実施要綱それぞれの変更はなし、被選挙人名簿作成の際に注意喚起することで対応することとした。検討結果については速やかに伝えることが承認された。
10. 須藤会長より、会長推薦候補者についての進捗報告があり、以降は会長一任することが承認された。
11. 中部支部について、内山支部長から和泉潤支部長への交代が報告された。

次回は未定（会長選挙後）

☆ 研究会報告 ☆

**[第 120 回定例研究会]**

日 時 12月5日(土) 14:00-16:00  
会 場 中央大学駿河台記念館  
テーマ 産業革新の源泉:シリコンバレーのイノベーション・エコシステム  
講 師 氏家 豊(SBFコンサルティング、President & CEO / 創業者)

**[第 121 回定例研究会]**

日 時 1月22日(金) 10:30-17:00  
会 場 電気通信大学  
テーマ 第16回社会情報システム学シンポジウム

**[第 58 回情報政策研究会]**

日 時 平成 21 年 12 月 2 日(水)  
会 場 中央大学駿河台記念館  
テーマ Cloud Computing の現状と課題  
講 師 谷脇康彦(総務省報通信国際戦略局情報通信政策課長)

## ☆ 委員会報告 ☆

## 【学術委員会】

## ● 第 5 回学術委員会

<日時>平成 22 年 1 月 6 日 (水) 18:00~18:45

<会場> 東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環 6 階会議室

<出席者> 安藤明之 (東経大)、太田敏澄 (電通大)、岡田勇 (創価大)、  
五藤寿樹 (日本橋大)、櫻井成一朗 (明学院大)、小豆川裕子 (NTT データ)、  
田中秀幸 (東大)、廣松毅 (情報セキュリティ大学)、山本佳世子 (電通大)

<議事>

1. 前回議事録の確認
2. 21 年度大会研究発表賞 (田中委員)
3. 21 年度全国大会で発表した学生への投稿奨励 (田中委員)
4. 22 年度全国大会 (田中委員)
5. 第 3 回大学院生研究発表大会 (山本委員)
6. 学会ホームページ見直し (田中委員)
7. 研究者倫理研究部会の開催 (田中委員)

・次回の学術委員会は、

東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環 6 階会議室で、3 月 6 日 (土) 15:00~

## ☆第 16 回社会情報システム学シンポジウム開催報告☆

環境・教育・GIS研究部会 主査 太田敏澄（電気通信大学）  
幹事 諏訪博彦（電気通信大学）

日本社会情報学会（JASI）「環境・教育・GIS」研究部会では、第 16 回社会情報システム学シンポジウム（第 121 回定例研究会）を、社会情報システム学研究会の主催、経営情報学会（JASMIN）「社会情報と情報ネットワーク」研究部会、電気通信大学 Social Informatics（社会情報学）研究ステーションとの共催にて、2010 年 1 月 22 日（金）に電気通信大学情報システム学研究科棟にて開催致しました。

このシンポジウムは、ユビキタス時代の社会情報システムのシナリオを描くべく、人文・社会科学的情報概念と自然科学的情報概念の統合を企図し、高度でかつ幅広い議論ができますことを願って開催致しております。お陰様をもちまして、64 名の方々のご参加を戴き、盛会のうちに開催することができましたことに、深く感謝致しております。

来年同時期には、第 17 回のシンポジウムを企画する予定に致しておりますので、ご研究発表をはじめ、ご関心のある多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

第 16 回のシンポジウムでは、特別講演として、「電子自治体の進路」（小室裕一氏、財団法人 地方自治情報センター（LASDEC）理事長）のご講演を戴きました。

このご講演では、自治体の情報化について、鳥瞰的で理解しやすいご説明で、住基ネットや LGWAN の展開について、さらには学会への期待などにつき、具体的な事例を交えてご講演下さり、貴重な知見を得ることができました。敷衍いたしますと、情報技術の利用が、技術規範型の導入から社会規範型の活用へと軸足を移行させているという動向や、組織を対象とした導入から個人を基盤とした導入へのシフトといった動向と相俟って、今後この領域の研究を展開する上で大変有意義なご講演でありました。

さらに、公募による一般セッション講演では、20 件のご研究発表がありました。一般セッションでのご講演は、

- [1] 地域活性化 [2] 金融とリスク [3] 知識共有 [4] ソーシャルメディア  
[5] 人材教育と環境 [6] 企業活動の分析と改善

の 6 のセッションにより行われました。

いずれのご講演も、時代の要請にもとづいた概念的、理論的ないし方策的なご研究の成果を披瀝して戴いたご講演であり、この領域の研究がますます盛んになることを確信することができました。

なお、一般セッションでのご講演の題目につきましては、社会情報システム学研究会のホームページ <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/> に、これまでの回のご講演題目を含めて掲載致しておりますので、ご覧戴けますよう宜しくお願い致します。また、学術講演論文集に掲載された論文の和文概要ないし英文概要は、科学技術振興機構のデータベース（JDream の JSTPlus）に登録しておりますので、ご参照下さい。

また、学術講演論文集（ISSN：1882-9473）に余裕がございますので、ご希望の方に、実費 ¥1,000 にて頒布致します。お申し込みは、第 16 回社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集購入ご希望の旨、ご送付先住所、お名前、tel または fax 番号を添え、e-mail: [ohta@is.uec.ac.jp](mailto:ohta@is.uec.ac.jp) または fax: 042-443-5660 太田敏澄宛に、お願い致します。代金につきましては、郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会宛に、学術講演論文集到着後、お振り込み下さいますようお願い致します。

部数に限りがございますので、先着順にてご容赦下さい。

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局 研究会代表 太田敏澄  
FAX&TEL: 042-443-5660, e-mail: [ohta@is.uec.ac.jp](mailto:ohta@is.uec.ac.jp)  
電気通信大学 大学院情報システム学研究科 社会知能情報学専攻  
社会情報システム学講座 URL: <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/>

## ☆ 事務局だより ☆

### \* 会費納入のお願い

過年度の会費が未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

未納会費請求につきましては、現在、年4回の請求（10月、12月、4月、8月）をさせていただいておりますが、未納の場合、会員規則第4条に従いまして、1年未納の場合会員サービス停止、2年未納の場合は除名となる場合があります。主旨ご理解の上、重ねてよろしくごお願い申し上げます。

### \* 通信費削減への協力のお願い

各種ご通知・ご案内を封書にてさせて頂いて戴いておりますが、少しでも通信費予算を削減し、より充実した研究会・学会誌等に充当致したく、メールでのご案内を考えております。

主旨ご理解の上、メールでの各種案内が可能な会員の方々のご協力をお願い致します。メールアドレスが変更された会員の方は、事務局までご送信のほどよろしくごお願い致します。

平成17年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週2日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。

会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。

宛先 FAX 0422-40-2062 E-mail [office@jasi.info](mailto:office@jasi.info)

事務局アドレスが変わりました。

新アドレスは [office@jasi.info](mailto:office@jasi.info) です。

旧アドレス [jasi@jade.dti.ne.jp](mailto:jasi@jade.dti.ne.jp) は H22 年 4 月 1 日より使用不可となりました。